



梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまします。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかりと拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもとう、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいくか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていますから、手がかかるのに、手がかけられない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育ては昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めちゃくちゃに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがままを言っているのは片目くらいつぶりですが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

<年少組今月の目標>

健康・汗を拭く

人間関係・友だちを名前と呼ぶ。

環境・体育遊びの中で簡単なルールを理解し
順番に行なう。

言葉・「ありがとう」、「ごめんなさい」が言える。

造形・描画、絵手紙

音楽・「アの字がつくから」「みんなの広場」
「水遊び」

も「外で遊びたい！」と、毎日元気いっぱいです！喉が渇く前に水分補給ができるように伝えて、無理のないように遊びます。

杉本 ゆうが

<担任から今月のメッセージ>

先日は、お忙しい中ファミリーデーに参加していただき、ありがとうございました。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、おうちの人たちに向けたみんなの笑顔がいつもとは違う、よりキラキラした笑顔で、胸がいっぱいになりました。

最後にお礼の言葉で言った「いつも遊んでくれてありがとう」は、みんなに前日に伝えたい言葉を聞いて決めました。

何でよく遊んでもらうのか聞くと、「〇〇が好きな絵本をたくさん読んでくれる！」

「〇〇がエルサで、ママがアナになって遊ぶの！」

「公園に連れて行ってくれる！」

と、たくさん遊びが出てきました。

6月から制服登園でした。入園式以来の制服を着たみんなが可愛くてカッコよくて、先生たちからの「かわいい!」「似合ってる!」「カッコいい!」が止まりませんでした。

今は少しズカッと着ている制服が、丁度良くなり、少し小さくなってしまおう日か来るとかと思うと、今を目に焼き付けておきたいなと感じました。

着替えが始まり、脱ぎ方や畳み方、着る順番などを覚えてスムーズに脱ぎ着できる子が増えてきました。男の子のズボンのフックや、女の子の夏服のボタンに苦戦する子が多いです。お忙しいと思いますが、家でもできるようにご協力をよろしくお願いいたします。

6月は砂場遊びも行ないました。少し涼しい日だったので「寒い…」という子もいましたが、砂を掘りお風呂や温泉を作り、そこまで水の道も作り、水をたくさん流してくれる子や、お風呂をどんどん大きくしてくれる子、「お風呂はいる!」と、私と一緒にお尻や体まで泥まみれになってくれる子もいました。

もうすぐ行なうぬたくりでは、砂場遊び以上に、濡れて汚れて思い切り遊びたいです!「汚れていいんだよ!」「汚ってきてね!」と、伝えていただけると嬉しいです!

梅雨入り前から暑く、ムシムシした日が続いています。6月とは思えない暑さですが子どもたちはそれで

